No title available

Patent number:

JP56014713U

Publication date:

1981-02-07

Inventor: Applicant:

Classification:

- international:

B60H1/00; A47C7/72; A47C7/74; B60H3/00; B60H1/00;

A47C7/72; B60H3/00; (IPC1-7): B60H3/00; A47C7/72;

B60H1/00

- european:

Application number: JP19790097370U 19790713 **Priority number(s):** JP19790097370U 19790713

Report a data error here

Abstract not available for JP56014713U

Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(9 日本団特許庁 (JP)

母 公開実用新案公報(U)

①実用新案出願公開

昭56-14713

(f)Int. Cl.³ B 60 H 3/00

A 47 C

B 60 H

識別配号

庁内整理番号 6968-3L 6417-3B

6968-31.

の公開 田和

昭和56年(1981)2月7日

客在請求 未請求

(全 4 頁)

60シート冷暖装置

如実 顧 昭54—97370

7/72

1/00

ФШ

頭 昭54(1979)7月13日

②考案者相崎昭友

の実用新築登録論求の範囲

- 1 冷気あるいは暖気が通過して、車内の人間が 座る面を内側から冷やしたりあるいは暖めたり する通気腔と、車内のケーラあるいはヒータか らこの通気腔内へ冷気あるいは暖気を送り込む 送風管とからなることを特徴とするシート冷暖 装備。
- 2 通気腔はシート内に設けられていることを特 後とする実用新来登録請求の範囲第1項に配載 のシート冷暖装置。
- 3 通気腔は腰掛け部及び背もたれ部に設けられていることを特徴とする実用新来登録請求の範囲第2項に記載のシート冷暖装置。
- 4 通気腔はシート上に載置できるマット内に設けられていることを特徴とする実用新来登録時 求の範囲第1項に記載のシート冷暖装置。
- 5 送風管はクーラあるいはヒータの送風口から 強制的に吸引する吸引装置を備えていることを 特徴とする実用新来登録請求の範囲第4項に記 戦のシート冷暖装置。
- 6 通気腔にシート又はマツトの胸掛け部の前端 に閉口し、背もたれ部の上端に放出口を備えて

大垣市菅野1丁目1656番地の50

の出 願 人 相崎昭友

大垣市菅野1丁目1656番地の50

の代理 人 弁理士 恩田博宜

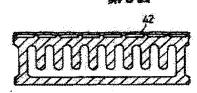
いることを特徴とする実用新来登録請求の範囲 第3項又は第5項に記載のシート冷暖装置。

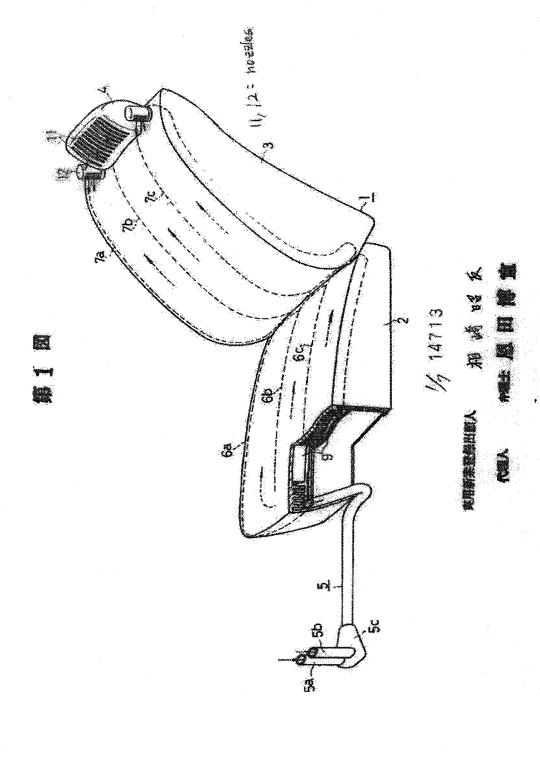
- 7 通気腔は内面に腔面より突出した複数幅のリ ブを備えていることを特徴とする実用新来登録 請求の範囲第6項に記載のシート冷暖装置。
- 8 放出口には放出方向を変化させることのできるノズルを突設したことを特徴とする実用新案登録請求の範囲第7項に記載のシート冷暖装置。 図面の額単な説明

第1図及び第2図はこの考案のシート冷暖装置 を具体化した一実施例を示す一部破断斜視図及び 斜視図、第3図は別の実施例を示す一部破断糾視 図、第4図は同じく吸入装置の断面図、第8図及 び第5図は同じく風量調節板及びノズルの一部破 断斜視図、第7図はさらに別の実施例を示す一部 破断斜視図、第8図は結撃防止用のシートを取付 けた状態を示す断面図、第9図はサマークツショ ンにエアを送込んだ状態を示す糾視図である。

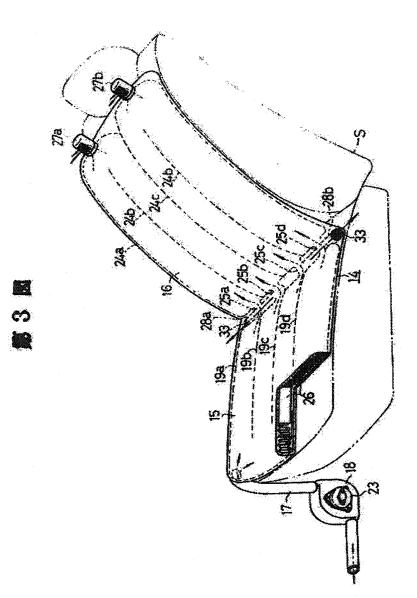
送風管5、通気腔6a, 6b, 6c, 7a, 7b, 7c、ノ ズル12、マット14、送風管17、吸入装置18、通気 腔19a, 19b, 19c, 19d, 24a, 24b, 24c, 24d, 3 8、ノズル27a, 27b、風量調節板33。

無8図



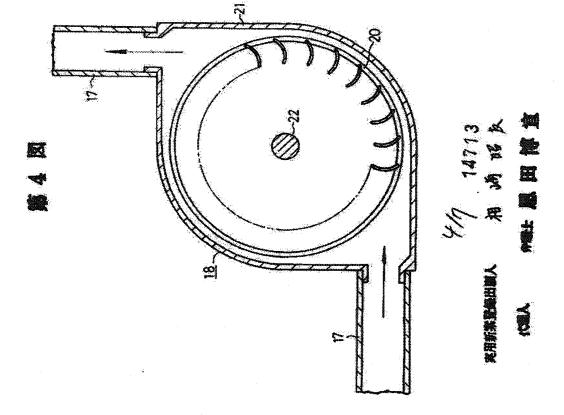


11071



%用級際監察出版人 油 成 16 灰

forty with 原田聯盟



KHWKBeller A A B B B K

第 70

Ø

9 8

The second secon

図の

因の開 31

被雇をを雇用されています。

はる田崎は